

# ホットフィックス(HOTFIX)はどのようにインストールするのですか？

## Question

ホットフィックス(HOTFIX)はどのようにインストールするのですか？

## Answer

ホットフィックス(HOTFIX)には、「fsfix」と「jar」形式の2種類及び圧縮された「zip」形式があります。

- **fsfix 形式**  
fsfix 形式は、Windows サーバ/Windows クライアントマシン用のホットフィックスで、各マシン上でインストールを実行する際に使用します。
- **jar 形式**  
ポリシーマネージャ（エフセキュアの集中管理ツール）を使用してクライアントにホットフィックスをインストールする際に、jar 形式を使用します。
- **zip 形式**  
fsfix 形式及び jar 形式の双方もしくは片方を含め圧縮された形式でダウンロード後に解凍し必要な形式（fsfix 形式もしくは jar 形式）を使用します。

### 【ご注意】

インターネット・エクスプローラをご利用の場合、fsfix 形式や jar 形式をダウンロードした際のファイルの拡張子が.zip に変更されることがあります。ファイル・エクスプローラ（マイドキュメント）のメニューから、「ツール」→「フォルダオプション」を開き、「表示」タブの「詳細設定」から、「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外した後、「.ZIP」を「.fsfix」に変更して下さい。

### [インストール方法]

fsfix から

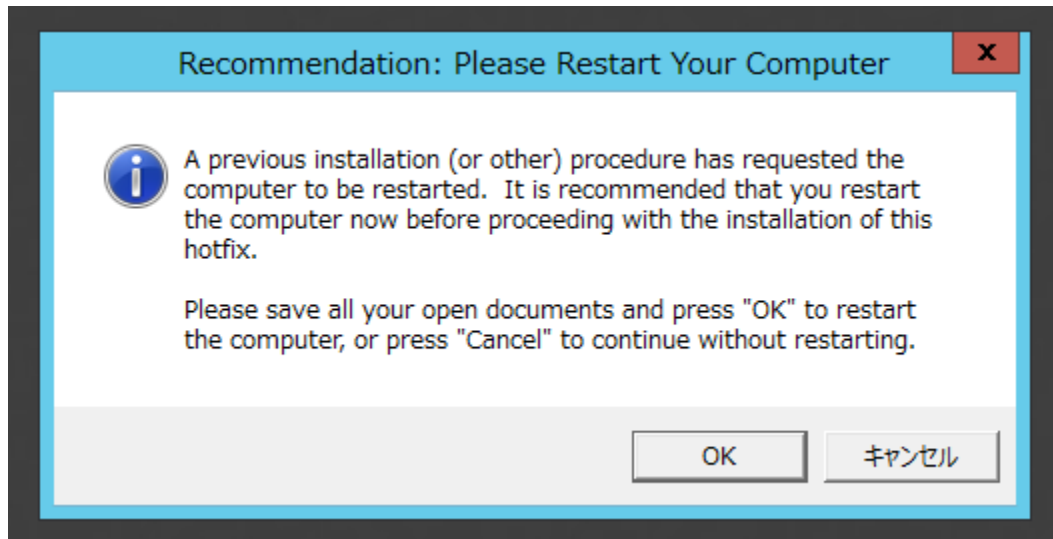
1. ダウンロードした fsfix ファイルを対象マシンのローカルディスク（もしくはアクセス可能なネットワーク上の HDD)に保存します。
2. fsfix ファイルをダブルクリックします。
3. メッセージボックスが表示されます。インストールを実行するには、「Yes」ボタンを押してください。
4. インストールが終了すると、インストールが完了した旨の、メッセージボックスが表示されます。  
「OK」ボタンを押して、インストールを終了します。

Jar から

1. ポリシーマネージャコンソールを開いて、インストールタブを選択して、インストールパッケージをクリックします。
2. インストールパッケージダイアログが開きますので、インポートをクリックして、ダウンロードした JAR ファイルをインポートします。

3. 閉じるでダイアログを閉じます。
4. ポリシードメインで必要な PC（あるいはドメイン）を選択して、下段にある“インストール”をクリックします。
5. インストールパッケージダイアログが開きます。必要なパッケージを選択して“OK”を選択します。
6. ポリシーを配布してください。

適用時に下記のようなダイアログが出る場合があります。必要に応じて再起動するかどうか選択してください。



ホットフィックス（HOTFIX）の適用よりも前のインストレーション（Windows の更新, サードパーティ製のソフトウェア含む）などで再起動を促されていますが、まだ再起動されていないようです。そのため警告を出しております。

再起動されることをお勧めしますが、運用上この時点では再起動ができない場合は、“キャンセル”を選択して続行してください。“OK”を選択した場合にはメッセージ通りにシステムの再起動が行われます。その後、この hotfix の適用を再試行してください。

## HotFix の適用状況を確認する方法

### ローカルマシンで確認する方法 (Client Security 13)

スタンドアロンで運用している場合や、各クライアントのローカル上で確認する場合、F-Secure 製品インストールフォルダ以下の「/Common/FSHOTFIX.exe」を実行することで、その PC で適用されている HotFix がわかります。

### ローカルマシンで確認する方法 (Client Security 14/15)

1. 管理者権限でコマンドプロンプトを開きます。

2. F-Secure 製品インストールフォルダに移動します。  
※ “fs\_ccf\_cosmos\_tool\_32.exe” が格納されているフォルダに移動します。
3. 下記のコマンドを実行します。※C:¥setting.txt は自由に設定してください。

```
Insert fs_ccf_cosmos_tool_32.exe --dump C:¥setting.txt
```

4. エクスポートされたファイルの中から“Hotfix” のキーワードで適用済 Hotfix を確認してください。

#### <サンプル>

```
status.windows.installed_hotfixes.0.applied: 1583324739
```

```
status.windows.installed_hotfixes.0.description: "This hotfix fixes several issues related to communication with PMP (CTS-101573, CSEP-4920)."
```

```
status.windows.installed_hotfixes.0.id: "FSCS1410-HF06"
```

```
status.windows.installed_hotfixes.0.product: "F-Secure Client Security"
```

```
status.windows.installed_hotfixes.0.version: "14.10.3074.0"
```

#### ポリシーマネージャコンソールで確認する方法

集中管理を行っている場合、ポリシーマネージャコンソールからクライアントに適用されている HotFix を確認できます。ポリシードメインツリーから確認したいクライアントを選択して、「ステータスタブ」の「F-Secure 管理エージェント」 → 「統計」 → 「HotFix のインストール」 → 「既知の HotFix」を選択すると、右ペインに適用済み HotFix の情報が表示されます。